

令和4年度 長崎県立佐世保工業高等学校 学校評価 アンケート

本校の 教育方針	本校の教育基本法並びに学校教育法長崎県教育方針に基づき、地域社会・家庭の協力を得ながら、本校教育の充実と発展に努めるため、教育目的を以下のように定める。
	① 命の尊さや、個人の尊厳を重んじ、自然と平和を大切にする態度を養う。
	② 正義と責任、協調の精神及び公共の精神を養う。
	③ 学力の充実とともに品格を高め、自主自立の精神を養う。
本年度 努力目標	④ 勤労を重んじ、工業技術の発展に寄与できるとともに、工業立国を担う実践的な工業人の育成に努める。
	『Challenge 佐工』～ 夢を抱いて自立できる生徒の育成～
具体的 取り組み	① 心豊かな人間性の育成（優秀な工業人材の育成）
	② 基礎学力および高い技術・技能の習得と学ぶ意欲の向上
	③ 保健相談、安全教育の充実
	④ 積極的な情報発信と地域貢献

※ 先生の説明に従い、下記の[]の4～1を参考に、「評価」の欄の該当する数字に○を記入してください。

[4 : よくあてはまる 3 : ややあてはまる 2 : あまりあてはまらない 1 : まったくあてはまらない]

項 目	内 容	職 員	生 徒	保 護 者
(1) 教育活動	1 わかりやすい授業を行い、適切に指導している。	3.3	3.3	3.3
	2 生徒に対して、学習内容や成績評価について十分に説明している。	3.3	3.5	/
	3 生徒の悩み（いじめ問題を含む）や相談に親身に対応している。	3.2	3.3	3.2
	4 「学校いじめ防止基本方針」に基づいた取り組みができています。	3.1	/	/
	5 生徒が良い事や努力をした時には褒めている。	3.5	3.4	3.3
	6 生徒の人権を尊重し、真剣に対応している。	3.3	3.4	3.2
	7 学年に応じた主権者教育を行っている。	3.0	3.3	3.1
	8 節水・節電・ゴミの分別など、省エネ、環境保全について指導している。	3.0	3.3	3.2
	9 教育活動を通して、「5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）」を指導している。	3.3	3.4	/
	10 普通科と工業科が連携した進路指導を行っている。	2.9	/	/
	11 行事の企画運営において、職員間の意志疎通や連絡・相談が十分にできている。	2.7	/	/
(2) 教育環境	12 学校は、清掃が行き届き、いつもきれいである。	2.7	3.1	3.3
	13 学校は、危険箇所などへの配慮がなされ安全である。	3.1	3.5	3.4
(3) 開かれた 学校	14 ホームページやメールメイト等で学校の情報を適切に発信している。	3.1	3.4	3.3
	15 学校からの配布物を保護者に見せるよう指導している。	3.4	3.4	2.9
	16 保護者が積極的に活動ができるようなPTA活動を行っている。	3.5	/	3.2
(4) 学校生活	17 生徒が学級活動や学校行事に積極的に参加する環境づくりができています。	3.2	3.4	3.3
	18 生徒が部活動に意欲的に取り組む環境づくりができています。	3.2	3.4	3.3
	19 生徒が将来の目標を定め、積極的に学校生活を送れる環境づくりができています。	3.1	3.5	3.3
(5) 教育環境	20 スマートフォンやタブレット等の使用について、誤った使い方をしないよう指導している。	3.2	3.5	3.3
	21 バスや鉄道の乗車に関する事等の、公共マナーについて指導している。	3.3	3.6	3.2

令和4年度 学校関係者評価

<p>学校関係者 (学校評議員を兼ねる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元企業代表取締役 ・ 地区自治会役員 ・ 高等専門学校教授 ・ 定時制元PTA会長 ・ 全日制元PTA副会長
<p>学校関係者からの 意見・助言等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページはよく更新されている。スマホに対応したレイアウトにできないか。 ・ 定時制の学び直し、ソーシャルスキルトレーニングは素晴らしい取組である。ただし、定時制を考える場合まず他校が検討される。中学生へのアピールを工夫してはどうか。 ・ スクールミッションに佐世保の特色を取り入れるのは難しいが、コミュニケーション力は就職後も重要。ぜひ伸ばしてほしい。 ・ 資格取得は佐工の強みの一つである。今後も力を入れてほしい。 ・ コロナ禍でPTA活動が縮小されたりして、保護者とのつながりが薄くなったのではないか。信頼される学校づくりのために、保護者とのかかわりを大切にすべきである。 ・ 卒業生の保護者等から、佐工は面倒見の良い学校だという話をよく聞く。今後も生徒一人一人を大切にしてほしい。 ・ 保護者や学校評議員が学校を訪れ、教育活動を参観できる機会をつくってほしい。 ・ ここ数年、地域では佐工生に対する苦情めいた話を聞くことが少なくなってきた。挨拶もよくするし、身なりも整っている。
<p>対 応 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページは県のシステムのためレイアウト変更はできないが、今後もこまめな更新、情報発信に努める。また、定時制についてはインスタグラムを活用して、学校生活や進路指導に関する発信を強化する。定時制では、オープンスクールだけでなく、個別の相談にも対応する。 ・ 生徒の学ぶ意欲を喚起し、生徒自身が学んだ専門性に対して誇りを持てるようにするために、今後も資格取得の取組を推進する。 ・ 保護者との連携を密にとり、担任だけでなく相談部や生徒指導部など、相談してもらいやすい態勢を整える。 ・ 体育祭や文化祭、課題研究発表会等に学校評議員を招待し、生徒の活動を見てもらう。